

○【十三仏】…初七日から三十三回忌までの年忌に仏像を作って供養したものです。このように13体揃っているのは、市内でもこの1箇所のみです。



▲十三仏

○【七人塚】…安徳天皇を匿った平家の一門である平野家随一の剣客が、山伏に扮した源氏の追討使七人を討ち果たし、その霊を慰めるために建てたとされています。

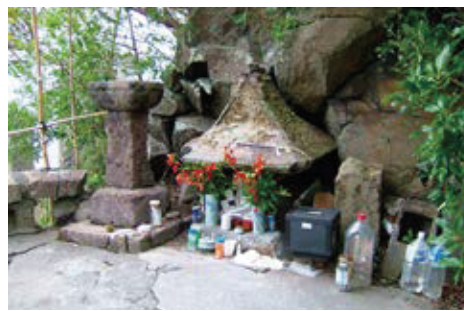


▲宇喜多秀家公潜居跡

○【宇喜多秀家公潜居跡】…豊臣政権下の五大老、権中納言宇喜多秀家公が関ヶ原の敗戦の後、島津家を頼り、2年3ヶ月の間、この地に匿われました。

○【平野家】…宇喜多公を匿い、お世話をされた下屋敷です。

○【太崎観音】…慶長年間牛根地頭は輝北の平山古河守半助および半兵衛であり、古河守は牛根地頭時代に愛松山古河寺を観音先の山手、寺の原に建て、このとき輝北岳野の観音平からこの地へ観音を奉還したと伝えられています。



▲太崎観音

2. 松ヶ崎の昔

(1) 棒踊り

松ヶ崎地区には島津義久公の朝鮮出兵を記念して棒踊りが盛んに行われ、なぎなたと鎌とを持って踊る麓（宮崎小路、中小路、東小路）では、旧暦2月の最初の卯の日に行われました。

また、辺田（大中野、小中野、上ノ村）では、旧暦2月の最初の申の日に行われ、子どもたちは親戚や友人宅にお互いに誘い合い行き来し、ご馳走をいただいて大変楽しんだそうです。



▲棒踊りの様子

